

【令和2年度事業評価】

静岡市上下水道事業経営協議会
「事務事業外部評価」
意見記入用紙

この様式に、各事業の評価、ご意見等をご記入のうえ、
6月25日(金)までにメールか郵送で返信してください。

【あて先】

〒420-0035 静岡市葵区七間町15番地の1
静岡市上下水道局水道部経営企画課 北原・田中
TEL:054-270-9125
FAX:054-270-9122
E-mail:suidoukikaku@city.shizuoka.lg.jp

【事務事業の評価基準】

第4次中期経営計画に掲げる事務事業について、設定した成果指標の目標値と実績値を比較した達成度に、活動指標の実績を勘案して、アルファベット小文字の「s」から「c」までの4段階で評価しています。評価の区分は下表のとおりです。

外部評価についても、下表の評価区分を参照の上、お願いします。

評価区分	数値目標があるもの	数値目標がないもの
s	目標を上回る (105%以上)	・ 目標以上の成果があがっている。
a	目標どおり (90%以上105%未満)	・ 目的達成に向けて、計画どおり成果が出ている。 ・ 実績や事業費に見合った十分な成果が出ている。
b	目標を下回る (70%以上90%未満)	・ 目的達成に向けて、ある程度成果が出ているが、目標をやや下回っている。 ・ 実績や事業費に比して成果がやや低い。
c	目標を大きく下回る (70%未満)	・ 目的達成に向けて、成果が出ていない。 ・ 事業実施の効果が認められない。 ・ 今後も成果が見込めず、事業そのものの見直しが必要。
—	実施せず	・ 実施する必要が無くなった。 ・ 政策変更等により、実施が不可能となった。

≪第4次中期経営計画 事務事業外部評価【令和2年度事業】≫

政策	施策	事務事業	外部評価			内部評価	
			評価	意見・要望	質問	評価	自己評価説明
1	(1)	主 ① 水道管の耐震化				b	<p>水道管の耐震化について、R2計画「2.5km」に対し、「1.8km」を実施した。</p> <p>具体的な取組として、日本平送水管布設替工事や福田ヶ谷送水管布設替工事など6件の工事を実施した。</p> <p>また、成果指標である基幹管路の耐震管率はR2計画「40.5%」に対し、「40.1%」の実績で、達成率は99.5%となったが、活動指標と併せて総合的に判断し「b」評価とした。</p> <p>水道管の耐震化を進めることにより、重要な水道管の「継手の離脱防止」、「水道管の破断防止」など耐震性の向上につながる。</p>
1	(1)	主 ② 下水道管の耐震化				a	<p>下水道管の耐震化について、重要な下水道管の耐震化をR2計画「7.1km」に対し、「10.4km」実施した。</p> <p>具体的な取組として、下水道管の耐震化調査・設計及び工事を実施した。</p> <p>また、重要な下水道管の耐震管率はR2計画「55.0%」に対し、「55.7%」の実績で、達成率は101.3%となったため、「a」評価とした。</p> <p>下水道管の耐震化を進めることにより、巨大地震による被害が抑制され、被災時における汚水の流出防止やトイレの使用の確保などにつながる。</p>

≪第4次中期経営計画 事務事業外部評価【令和2年度事業】≫

政策	施策	事務事業	外部評価			内部評価	
			評価	意見・要望	質問	評価	自己評価説明
1	(1)	主 ③ 水道施設の耐震化				a	<p>水道施設の耐震化について、配水池の耐震化率をR2計画どおり「計画の見直し」を実施した。</p> <p>具体的な取組として、「草薙配水池の水運用(配水池の貯水量減の操作により、費用をかけずに耐震性を確保。)」及び「向敷地配水場耐震化事業(今ある施設を活用することで用地取得に必要な期間を短縮し、令和9年度から予定していた工事を令和4年度に前倒しし着手)」について計画の見直しを実施した。</p> <p>また、配水池の耐震化率は、R2計画のどおり「42.1%」となり、達成率は100%となったため、「a」評価とした。(令和2年度中に耐震化が完了した配水池はないが、全体の有効容量が減少したことにより、耐震化率は上昇している。)</p> <p>水道施設の耐震化を進めることにより、巨大地震の発生に備え、「災害時に確保できる貯水量の増大」につながる。</p>

≪第4次中期経営計画 事務事業外部評価【令和2年度事業】≫

政策	施策	事務事業	外部評価			内部評価	
			評価	意見・要望	質問	評価	自己評価説明
1	(2)	主 ③ 雨水幹線・ポンプ場などの整備				a	<p>雨水幹線・ポンプ場などの整備について、雨水幹線・ポンプ場などの完了地区数は、R2計画「0地区」にR1に未達成であった「3地区」を加えた「3地区」に対し、「2地区」となった。次に対策実施地区数は、R2計画「5地区」にR1に未達成であった「3地区」を加えた「8地区」に対し、「7地区」であった。</p> <p>具体的な取組として、対策完了地区数は、R1完了予定であった「広野」、「豊田二丁目・三丁目」及び「小鹿三丁目」の3地区を予定していたが、このうち対策が完了したのは「広野」及び「豊田二丁目・三丁目」の2地区となった。「小鹿三丁目」地区は令和3年2月に浸水対策に重要な雨水渠の整備は完了し、供用開始したものの、地元から当該工事区間の既設道路側溝の改修要望があり、その側溝改修工事を待ってから舗装復旧工事を実施したので、工事完了が令和3年5月となった。このため、対策完了地区の実績値は2地区となった。次に対策実施地区数は、上の3地区を加えて「8地区」実施する予定であったが、「押切・石川新町」地区では、雨水放流先の和田川について建設局の整備に合わせる必要が生じたため工事着手を見送り、実績値は7地区となった。</p> <p>また、浸水対策率はR2計画「57.7%」に対し、「53.8%」の実績で、達成率は93.2%となったため、「a」評価とした。</p> <p>雨水幹線・ポンプ場などの整備を進めることにより、速やかに雨水が排除され、浸水被害の軽減につながる。</p>

≪第4次中期経営計画 事務事業外部評価【令和2年度事業】≫

政策	施策	事務事業	外部評価			内部評価	
			評価	意見・要望	質問	評価	自己評価説明
1	(4)	主 ② 災害時活動拠点の整備				a	<p>災害時活動拠点の整備について、耐震性貯水槽の整備をR2計画「1基」に対し、1基の設置工事を発注したが、想定以上の湧水により、付帯工事が年度内に完了せず、完成は令和3年度となった。</p> <p>具体的な取組として、駿河区中島児童館に、耐震性貯水槽1基を設置する工事を発注した。</p> <p>また、災害時、1週間に必要となる水を供給できる人数は、R2計画「203,200人」に対し、「198,400人」の実績で、達成率は97.6%となった。</p> <p>活動指標の実績値が計画値を下回るものの、令和3年3月末には運転可能な状態であり、目標達成に向けて計画どおり成果が出ているため、総合的に勘案し「a」評価とした。</p> <p>災害時活動拠点の整備を進めることにより、災害時における、より迅速な応急給水活動体制確保につながる。</p>
2	(1)	主 ② 水道管の更新				b	<p>水道管の更新について、水道管(配水支管)の更新を、R2計画「13.1km」に対し、「9.8km」実施した。</p> <p>具体的な取組として、配水支管の更新調査・設計・工事を実施した。</p> <p>また、管路の更新率はR2計画「0.60%」に対し、「0.44%」の実績で、達成率は73.3%となったため、「b」評価とした。</p> <p>水道管の更新を進めることにより、漏水による事故や、濁水の発生軽減につながる。</p>

≪第4次中期経営計画 事務事業外部評価【令和2年度事業】≫

政策	施策	事務事業	外部評価			内部評価	
			評価	意見・要望	質問	評価	自己評価説明
2	(1)	主 ③ 下水道管の改築				a	<p>下水道管の改築について、R2計画「4.9km」に対し、「3.9km」実施した。</p> <p>具体的な取組として、高松処理区、城北処理区、南部処理区及び北部処理区の調査・設計及び改築工事を前年度からの繰越しも含め5.6km実施した。取組結果としては、入札不調により完成延長が3.9kmにとどまったものの、不調工事の再発注及び追加工事の発注により、年度内に当初予定どおりの改築延長を発注した。</p> <p>また、管きよ100km当たりの陥没箇所数はR2計画「0.4箇所以下」に対し、「0.24箇所」と目標を上回り、目的達成に向けて、計画どおり成果が出ているため、活動指標と成果指標を総合的に勘案し「a」評価とした。</p> <p>下水道管の改築を進めることにより、管の老朽化が原因で起こる重大な道路陥没事故などの発生の抑制につながる。</p>
2	(1)	主 ④ 水道施設の更新				a	<p>水道施設の更新について、水道施設(設備)の更新数をR2計画どおり「7箇所」を実施した。</p> <p>具体的な取組として、城内配水場電気設備更新工事ほか6工事を実施した。</p> <p>また、更新実施率はR2計画どおり「12.8%」の実績で、達成率は100%となったため、「a」評価とした。</p> <p>水道施設の更新を進めることにより、水道施設(設備)の更新実施率が上がり、安定給水の向上につながる。</p>

≪第4次中期経営計画 事務事業外部評価【令和2年度事業】≫

政策	施策	事務事業	外部評価			内部評価	
			評価	意見・要望	質問	評価	自己評価説明
2	(1)	主 ⑤ 下水道施設の改築				S	<p>下水道施設の改築について、下水道施設の改築数をR2計画「8箇所」に対し、「11箇所」実施した。</p> <p>具体的な取組として、中島浄化センター1系最終沈殿池設備改築工事や浜田ポンプ場沈砂池ゲート設備改築工事などを実施した。</p> <p>また、下水道施設の改築実施率はR2計画の「10.6%」に対し、「13.1%」の実績で、達成率は123.5%となったため、「s」評価とした。</p> <p>下水道施設の改築を進めることにより、経年劣化による施設の故障が原因で発生する処理機能の停止を未然に防ぎ、雨水の排水や公衆衛生の向上及び公共用水域の保全につながる。</p>
2	(1)	主 ⑥ 水道管の漏水対策				a	<p>水道管の漏水対策について、R2計画どおり「1年に1回調査する地区：8地区、2年に1回調査する地区：3地区、3年に1回調査する地区：3地区の計14地区」実施した。</p> <p>具体的な取組として、漏水調査延長1,450kmにおいて、584箇所の漏水を発見し修繕を実施した。</p> <p>また、管路点検率はR2計画「54.7%」に対し、「55.5%」の実績で、達成率は101.5%となったため、「a」評価とした。</p> <p>水道管の漏水対策を進めることにより、漏水量の軽減、有収率の向上、事故の抑制につながる。</p>

≪第4次中期経営計画 事務事業外部評価【令和2年度事業】≫

政策	施策	事務事業	外部評価			内部評価	
			評価	意見・要望	質問	評価	自己評価説明
2	(2)	主 ① 施設の小規模化・統廃合				a	<p>施設の小規模化・統廃合について、施設の統廃合をR2計画「1施設停止」に対し、「1施設停止、中町浄水場・配水池跡地の利活用決定」を実施した。</p> <p>具体的な取組として、清地水源地～中町浄水場までの導水管の漏水事故に伴い、令和2年7月19日に配水区域の切り替え作業を行い、中町浄水場・配水池を停止した。</p> <p>さらに、R4計画にあった「中町浄水場・配水池跡地の利活用方針決定」については、跡地を選定に苦慮していた大平山配水池の更新用地とすることで、用地取得等にかかる期間の縮減につなげることができた。</p> <p>また、軽減額はR2計画「998万円」に対し、「1,017万円」の実績で、達成率は101.9%となったため、「a」評価とした。</p> <p>施設の小規模化・統廃合を進めることにより、施設の効率的な運転や維持管理費の軽減につながる。</p>
3	(2)	主 ① 自然エネルギーの活用				b	<p>自然エネルギーの活用について、R2計画どおり「導入可能性検討」を実施した。</p> <p>また、再生可能エネルギー利用率は、R2計画どおり「0.16%」の実績で、達成率は100%となった。次に温室効果ガス排出低減量は、R2計画値「103t」に対し、「85t」の実績で、達成率は82.5%となったため「b」評価とした。</p> <p>自然エネルギーの活用を進めることにより、温室効果ガスの排出量の低減につながる。</p>

≪第4次中期経営計画 事務事業外部評価【令和2年度事業】≫

政策	施策	事務事業	外部評価			内部評価	
			評価	意見・要望	質問	評価	自己評価説明
3	(2)	主 ② 省エネルギー対策				b	<p>●上下水道局庁舎等で使用するエネルギー量(以下、庁舎等使用エネルギー) R2計画「213kℓ」に対し、「212kℓ」の実績であった。庁舎等使用エネルギーでは、休み時間中の消灯、熱交換器の調整及び摩耗したファンベルトの交換を実施した。</p> <p>●飲料水の年間生産に必要なエネルギー量(以下、飲料水生産エネルギー) R2計画「8,086kℓ」に対し、「8,318kℓ」の実績であった。飲料水生産エネルギーでは、取水ポンプ等の効率的な運転に努めた。</p> <p>●下水の年間処理に必要なエネルギー量(以下、下水処理エネルギー) R2計画「12,881kℓ」に対し、「12,667kℓ」の実績であった。下水処理エネルギーでは、燃料化施設の運転や省エネ機器の導入を実施した。</p> <p>また、二酸化炭素排出低減量(平成29年度比)は、3事業合計でR2計画「162.4t」に対し、「117.6t」の実績で、達成率が72.4%だったため「b」評価とした。 省エネルギー対策を進めることにより、エネルギーの消費を抑制し、温室効果ガスの低減を図ることにつながる。</p>
4	(3)	③ 地域貢献				c	<p>地域貢献について、地域貢献活動回数をR2計画「20回以上」に対し、「9回」実施した。 具体的な取組として、①高齢者等見守り支援1回 ②庁舎玄関前にぎわい創出活動1回 ③庁舎周辺美化活動1回 ④上下水道フェア(オンライン)1回 ⑤花菖蒲鑑賞会1回 ⑥水道・下水道施設見学会4回の計9回を実施した。 また、地域貢献参加職員数はR2計画「1,000人以上」に対し、「379人」の実績で、達成率は、37.9%となったため、「c」評価とした。 地域貢献を進めることにより、地域の一員として、庁舎周辺のにぎわいづくり及び安心・安全なまちづくりに寄与貢献し、きめ細やかなサービスを提供することで、市民との信頼関係の向上につながる。</p>

≪第4次中期経営計画 事務事業外部評価【令和2年度事業】≫

政策	施策	事務事業	外部評価			内部評価	
			評価	意見・要望	質問	評価	自己評価説明
5	(2)	主 ① 各種研修の充実				b	<p>各種研修の充実について、研修・資格取得計画に則った研修の実施をR2計画「実施」に対し、「実施不可」となった。</p> <p>具体的な取組として、通常の業務を一時離れて上下水道局外で行う「外部研修」と上下水道局内で実施する「内部研修」を計画どおり実施しようとしたが、新型コロナウイルス感染症予防策のため研修の中止等により計画どおり実施できなかった。</p> <p>また、「水道技術に関する資格取得度」はR2計画「1.4件/人」に対し、「1.7件/人」の実績で、達成率は121.4%となった。</p> <p>しかし、水道部と下水道部両部の「外部研修時間」はR2計画「8.5時間/人」に対し、「2.1時間/人」の実績で、達成率は24.7%となった。さらに水道部と下水道部両部の「内部研修時間」はR2計画「9.3時間/人」に対し、「7.6時間/人」の実績で、達成率は81.7%となった。</p> <p>3つの成果指標のうち「外部研修時間」は、コロナの影響による研修中止の多発という不測の外部事情のため評価不能と判断した。その他2つの指標について、「資格取得度」は目標以上の成果が出ているものの、「内部研修時間」は、目標達成に向けてコロナ対策を最大限行い可能な限り実施したが目標を下回っていることから、総合的に評価し、「b」評価とした。</p> <p>各種研修の充実を進めることにより、職員の技術力が向上し、お客さまサービスの充実につながる。</p>

≪第4次中期経営計画 事務事業外部評価【令和2年度事業】≫

政策	施策	事務事業	外部評価			内部評価	
			評価	意見・要望	質問	評価	自己評価説明
5	(3)	主 ② 企業債残高の適正な管理				a	<p>企業債残高の適正な管理について、水道事業の企業債借入額及び元金償還金がR2計画「30億円」及び「23億円」に対し、「21億円」及び「23億円」となった。次に下水道事業の企業債借入額及び元金償還金がR2計画「89億円」及び「107億円」に対し、「90億円」及び「106億円」となった。</p> <p>具体的な取組として、借入と償還を計画的に行い、企業債への過度な依存とならないよう適正な管理を実施した。</p> <p>また、水道事業の年度末における企業債残高はR2計画「450億円」に対し、「441億円」の実績で、達成率は102%となった。次に下水道事業の年度末における企業債残高はR2計画「1,438億円」に対し、「1,439億円」の実績で、達成率は99.9%となった。2つの成果指標を勘案し、目標達成に向けて、計画どおり成果が出ているため、「a」評価とした。</p> <p>企業債残高の適正な管理を進めることにより、次世代との負担の平準化を図り、安定した事業の持続につながる。</p>
5	(3)	主 ⑤ 収納率の向上				a	<p>収納率の向上について、給水停止予告通知書発送をR2計画「19,000通」に対し、「19,163通」実施した。次に受益者負担金一括納付の勧奨を、R2計画どおり「3回」実施した。次に申告書提出督促実施をR2計画どおり「1回」実施した。</p> <p>また、水道料金収納率はR2計画「99.11%」に対し、「99.02%」の実績で、達成率は99.9%となった。次に下水道使用料収納率はR2計画「99.05%」に対し、「99.06%」の実績で、達成率は100%となった。次に受益者負担金収納率はR2計画「93.57%」に対し、「95.66%」の実績で、達成率は102.2%となった。3つの成果指標を勘案し、「a」評価とした。</p> <p>収納率の向上を進めることにより、現年度分未収金の発生抑制に伴い、収入の増加につながる。</p>

≪第4次中期経営計画 外部評価対象となっていない事務事業についてのご意見・要望・質問等【令和2年度事業】≫

※外部評価対象となっている事務事業については、別シート「≪第4次中期経営計画 事務事業外部評価【令和2年度事業】≫」に記入ください。

事務事業名	意見・要望	質問

外部評価対象となっていない事務事業については、次ページの一覧をご確認ください。

外部評価対象となっていない事務事業一覧

政策	施策	主要事業	事務事業番号	事務事業名
1	(1)		④	下水道施設の津波対策
	(2)		①	雨水総合排水計画の更新
			②	内水ハザードマップの作成・公表
	(3)	主	①	水の相互運用
(4)		①	事業継続計画(BCP)の充実・定着	
2	(1)		①	中長期計画の更新
			⑦	下水道管の不明水対策
(2)		②	水運用計画の策定	
3	(1)		①	水源涵養林の維持管理
		主	②	下水道計画区域内の整備
		主	③	水洗化戸数の増加
			④	浄化センターからの放流水質の安定的な維持
	(3)	主	①	リサイクル率の向上
4	(1)	主	①	水道管の整備・充実
		主	②	水道施設の整備・充実
		主	③	直結給水サービスの拡大
		主	④	水質管理・監視の充実
		主	⑤	鉛製給水管の更新
	(3)	主	①	料金支払いの利便性の向上
		主	②	サービス体制の再構築
	(4)	主	①	静岡市上下水道事業経営協議会の開催
			②	協働事業の検討・実施
		主	③	積極的な広報活動
			④	広聴機能の充実
5	(1)		①	機能的な組織づくり
		主	②	上下水道の資産・資源の有効活用
			③	マッピングシステムの運用拡大
	(2)	主	②	技術継承の仕組みづくり
	(3)		①	新たな収入の確保
			③	財政計画の定期的な見直し
			④	適正な債権管理
	(4)		①	国際協力に係る情報収集と実施などの検討
主		②	広域連携の実施・検討	